

2008年北海道登山記

はじめに～今年の夏は白馬でグリーンパトロールをしようと考えて5月には日赤の救急法救急員養成講習会も受講し万全の体制であったがやはり「耳」の事で迷惑掛けたりしたくないので諦める。急遽北海道行きを決断する。(当初は夏軍資金稼ぎ9月に予定していた)準備不足で出発する。もう一つ気がかりなのはシルバーの仕事で「薪割り」したがとてもハードで(重い)膝と腰を悪化させた。7月2日10:30新潟港発 小樽港4:30着 15日19:30苫小牧港発新潟港15:30着でした。去年は好天に恵まれて「ニペソツ山」が雨で中止しただけであとは全て快晴に近かった。今年は逆に雨こそろくに降らないがスッキリしない天気続きで予備日もかなりあったがとうとう後半は登山諦めて観光に切り替えてしまった。ゆとりの日程だったのに残念でした。ニペソツ山だけが展望があった位でそれも大雪連峰もボンヤリしていた。白雲山は良かったが。往路の船中で山好きがなんとなくロビーに集まった。2夫婦と単独4名。ほとんど百名山、200名山、300名山派であった。もう一つ時代を反映していたのは「宿」に寝泊りは私だけで他は皆車に寝泊り組であった。道の駅、登山口、SAが標的になる。

① 7/3 (木) 晴れ 白雲山 (1187M)

然別湖畔 P 11:00~11:50 白雲山 12:20~13:30 P 小樽から夕張ICまで高速道路走り日勝峠を下り十勝清水で釣り餌を買い、前々から見たかった然別湖まで延々と走って来た。この辺に泊まり明日ウペペサンケ山に登る予定だったが、明日の天気悪いようなので変更して幌加温泉に今日は泊まる事にする。湖畔では「オショロコマ」のボート釣りの特別解禁中で監視員が釣り券を販売している。手近な白雲山に時間的にみて登る事にする。然別湖を見下ろし、ウペペサンケ山、ニペソツ山など展望も良い。

鹿の湯入り口はキャンプ場



小樽から然別湖目指して日勝峠にて



白雲山山頂から然別湖を見下ろす



鹿の湯入り口はキャンプ場



秘湯鹿の湯で入浴



オシロコマを沢山釣りました



宿の名前の通りエゾシカが



② 7/6 (日) 晴れ ニペソツ山 (2013M)

天気悪くて2日間釣りで過ごす。3:20~3:45 十六ノ沢コース登山口 P 4:00~5:45 天狗ノコル 5:55~6:52 前天狗 7:03~7:47 鞍部 8:00~8:35 山頂 9:53~11:20 前天狗 11:30~13:58 P 14:17~14:40 幌加温泉 (片道 26KM)

長チョウバなので早く寝て早く起きて朝飯も食べて、トイレも済ませて出発する。北海道は時代の流れの先端を行き「トイレ」にうるさい。携帯トイレやトイレブスの普及に力を入れている。良い事だ。ついでに言うと「ストック」の先端には必ずゴムキャップの装用をするようにうるさく掲示などしている。道内の人には定着しているが問題は「道外の登山者」である。私も膝を痛めて特に下りはストックは必需品であり、刺さりが悪くなったり、気がついたらゴムキャップが取れて紛失したりと具合は悪いが守っている。そのためにゴムキャップの予備を2個持ち歩く。(家からは5個持参した。携帯トイレも) 登山口には前泊の車などがすでに10台以上止まっている。樹林帯の急な登りで始まるが道は良く踏まれている。人気があり登山者も多いせいだ。天狗ノコル付近はエゾコザクラが群生しているがあまり花の多い山ではない。この山で見た花はエゾイソツツジ、エゾノツガザクラ、イワブクロ、ミヤマアズマギク、エゾルリソウ、イワウメ、チングルマ、ウコンウツギ、ホソバイワベンケイ、チシマノキンレイカ、ハクサンイチゲ、キンロバイで大群生地は少ない。

ウコンウツギの群生



エゾコザクラの群生



前天狗で始めて顔を出した「ニペソツ」を見た時は思わず、「ワー」と叫んでしまった。「北海道の槍ヶ岳」と言われているが正に天を突く鋭峰である。思わずみとれてしまう。素晴らしい雄姿、名山だ。槍と同じに二等辺三角形も左に傾いている。

前天狗でやっとニペソツが見えました



好きです！ニペソツ！！



憧れのニペソツ山山頂



深田久弥氏は何でこんなに素晴らしい山を「日本百名山」に入れなかったのか？とても不思議である。(帰宅して調べたら、有力な候補には上がっていたが、深田氏はのぼらなかつたからと書いてある。その「後記」を読み直すと深田氏の選定にはかなりの疑問を感じた。) 山頂へは2番乗りであった。ダブルストックの私より年上の感じのオッサンが途中で追い抜いたから。足の速い人だ。下山も早い。景色もろくに見ないで5分ほどで下って行った。そんなに急いで何の目的？と聞きたくなる位。山頂近くまで快晴だったが、早くも天気下り坂で360度のてんぼうだが、ウッスラしている。北海道の主な山が全て展望できそうだ。特に大雪山からトムラウシが良く見える。日曜日であり30人位の登山者だった。去年は天気と日程上涙を呑んで諦めた山に登れた充実感で下山した。

③ 7/8 (火) 曇り 石狩岳 (1966M) 茨城県の人と

5:00 シュナイダーコース登山口～以降コースタイム不明～13:05 渡渉点～13:40 P 14:00～15:15 層雲峡 YH

7日も天気予報あまりよくないので釣りにした。ヒグマの事もあり石狩岳の登山道に平行して流れる沢で

釣る事にして（登山道を人が通るのでヒグマも近寄らないとの推理）シュナイダーコースの登山口に車置いて釣り始める。1台車が駐車していて、テントがあり人が中に居る。帰路沢山釣れたし、そのテントの人にイワナを数匹あげる。一昨日芦別岳、昨日ニペソツに登って今日は休養日と言う。昨日私もニペソツ登ったので私の事も覚えていた。

明日石狩岳に登るとの事。一緒に岩間温泉の露天風呂へ行く。昨年も入った秘湯だ。茨城県から来て69歳、200名山に挑戦中との事で次は天塩岳と言う。明日一緒に登らないかと誘われる。私の予定はユニ石狩岳だ。まあいいだろうとOKする。そんな経過で同行する事になった。宿に帰って天気予報は明日は曇り。でももう連絡が取れない。（圏外）名刺置いてきちゃったし、行かなくてはマズイ。どうも休養日は言い訳で、だいたい200名山は前日登山口へ泊まるとだいたいこの時期は翌日登るのが居る。その人達に声を掛けて一緒に登るのが手のようだ。事実芦別岳は私がフェリーの中で話をした八王子の300名山氏と一緒に登っている。今日は駐車場に彼の車しか無かった。相棒がいなかったので「休養日」になったのではと勘ぐる。それで私に声を掛けてきたようだ。実際8日に時間に行く他に車は無かった。彼にすれば私を誘って正解だったのだろう。比較的平坦なコースを1時間ほど歩き樹林の中の急登が始まる。やはり天気は良くない。話しながら登る。噂ドウリの急登が続くが、登りに強い小生はそんなに苦にならない。ただ昨年から馬鹿に汗が出るようになった。また時々呼吸入れるために立ち止まる事もある。矢張り歳のせいだ。登山道も決して広くはない。音更山からの登山道と稜線で合流する。広くなっている。天気よければ展望の良い所だと思う。



ここから山頂まではなだらかな道で高山植物も群生した所を何箇所か通る。山頂に到着して早昼食べてゆっくり休むが展望が天気悪くてあまり効かない。一昨日登ったニペソツを見たかったのだが。クマネシリ山やトムラウシへの縦走路なども見たかったのだが。40歳位の夫婦？が登って来た。忙しそうにすぐ下山した。今回はこの2人連れしか会わなかった。ニペソツに比べると人気がないようだ。話ながら下山する。彼は明日登る天塩岳の登山口の避難小屋に泊まると言っている。私の当初の予定は4日ニペソツ、6日ユニ石狩岳、8~10日は沼の原~五色ヶ原~ヒサゴ沼避難小屋（泊）~トムラウシ山~忠別岳~忠別岳避難小屋（泊）~沼ノ原。12日ニセイカウシュツペ山、14日美瑛岳と予備日入れながらの登山計画であったが、天候悪くて変更せざるをえない。今日は層雲峡のYH泊りである。昨年は素通りしてしまった十勝三俣のルピナス群生地へ寄る。本当にのどかな所だ。昔は此处まで線路があった。木材輸送が目的だったようだ。コーヒーをゆっくり飲みたくなるような「三股山荘」へは入らずに鉄道の名残を探したりして、三国峠へ向かう。峠のPAには土産店などあり観光客もチラホラいる。

三股のルピナスの群生



風情満点の三股山荘



秘湯 岩間温泉



大雪湖からのクチャンベツ沼ノ原登山口への林道の入り口を確認してYHに向かう。16:00 チェックインなので隣の大きなホテルの温泉に入って時間調整する。この夜は久振りに食事らしい食事にありつけた。矢張り美味しい。このYHは居心地がよいので好きだ。(昨年も連泊した) 欠点は温泉が引湯されていない点だ。天下の層雲峡温泉だと言うのに。YHの会員でなくても「割増金」取らないのも長所だ。

④ 7/9 (水) 沼の原へ 霧雨のち曇り

4:40~5:20 (30KM) クチャンベツ沼ノ原登山口 P 6:15~7:15 湿原木道入り口~7:35 石狩岳登山道分岐点~8:25 五色の水場 8:40~少し先まで行くが天候悪いので引き返す。~10:45 木道 終点~11:40 P 11:50~12:50 YH 層雲峡ビジターセンター見学する。

沼の原登山口



ゲートの鍵の番号を事前に聞いておき開錠する



沼の原湿原



木道の前方にトムラウシが見えました



天気予報よくないので沼ノ原へ行く事にする。林道の入り口は昨日確認したので安心して曲がる。大雪高原温泉方面との分岐にゲートがある。北海道の登山道への林道には途中にこのような鎖錠されたゲートが何箇所もある。事前に4桁の番号を森林管理所に問い合わせて聞いておかないと大変な事になる。ここは「1732」である。ダイヤル合わせると開いた。登山口には避難小屋もあり広い駐車場やトイレもある。北海道の面白いのは山中や山頂に避難小屋が少なくて、何故か登山口にある。私のような車には便利だ。(宿代の節約にもなり) 人気のように次々と登山者がやってくる。団体も何組か。此处から入山すると五色ヶ原やトムラウシ方面に便利(近い)なせいだ。早朝組はほとんどがヒサゴ沼か忠別岳の避難小屋へ泊まる。健脚なら1泊でトムラウシ温泉へ下れるので。層雲峡の方から入山すると白雲岳避難小屋と2泊になってしまう。生憎小雨で出発を遅らせる。霧雨になったので歩き出す。すぐに丸太の橋を渡るのだが、団体さんのオバサンが怖くて渡れないでいる。私が見本?含めて先に渡らせてもらう。それにしてもこの先大丈夫かな?太い丸太なのに。沼ノ原は予想外に平凡な所で拍子抜けする。花も少ない。ただ瞬間的にトムラウシが見えた。天気良ければ展望は良いだろう。五色の水場まで足を伸ばす。そこから先は急な歩きづらい道になった。そこで折り返す事にした。この感じではヒサゴ沼避難小屋までは充分歩けるだろう。ただあそこは大変混むのが欠点である。今日も団体含めて混むだろう。平日だが。五色ヶ原～化雲岳～ヒサゴ沼と歩きたかった。特に五色ヶ原は昨年層雲峡へ下山途中に「ビール休憩」した「黒岳石室」小屋のオッサンの話では「北海道一」の花畑との事だ。帰路沼ノ原湿原でユックリ「北海道の高山植物」(北海道新聞社刊)の本を開きながらの花見をする。(400gあり重いが必ず登山の際は持ち歩きました)目立たない小さな花ばかりである。タテヤマリンドウ、ツマトリソウ、ミツガシワ、ワタスゲ、ナガバノボウセンゴケ、チシマンジン、ホソバノキソチドリ、ツルコケモモなどが咲いていた。登山道脇もウコンウツギが目についた位です。早くYHに着きすぎたので、ビジターセンターを見学する。時間かけて。

⑤ 7/10 (木) 大雪山 緑岳 (2020M) ~小泉岳 (2158M) 霧雨のち曇り、ガス、霧雨

YH3:00~3:35 (27.6KM) 大雪高原温泉 (1240M) P 4:18~5:15 第二花畑~7:00 緑岳 7:10~8:06 小泉岳、小泉分岐 8:30~ユックリ花見しながら往路を戻る 11:00 緑岳~12:05 第二花畑 12:10~12:20 第一花畑 12:30~12:57 P (ヒグマ情報センター見学) 13:30~14:10 YH



昨年の緑岳～小泉岳間の高山植物の宝庫が忘れられず今度は大雪高原温泉から往復する事にする。天気予報もあまり良くないので景色は二の次で「花見」中心に。めが覚めたらので早朝出発する。途中まで昨日

と同じ林道なので暗くても分かるし。北海道は緯度の関係で明るくなるのが（日の出時間）早い。この事は知っていたほうが良い。大雪高原温泉には広い駐車場とトイレと温泉旅館とヒグマ情報センター、森林パトロール事務所がある。案の定天気悪い。霧雨止むのまって出発する。雪渓が花畑付近から2箇所ある。

エゾノタカネツメクサ



ホソバウルップソウ



大雪山のみエゾオヤマノエンドウ



エゾタカネスマレ



大雪山のみキバナシオガマです



珍種 ダイセツヒナオトギリ



100~200M程。花畑と言うがあまり花は無い。エゾコザクラ、キバナシクナゲが満開でチングルマ、ツガザクラ位で規模も小さい。名前負けの感。拍子抜けする。長い雪渓をトラバースしてハイマツ帯に入る。緑岳山頂への登りは急な岩のゴロゴロした火山跡の様な感じ。ナキウサギが居ると案内書に書いてあるのでキョロキョロするが見当たらない。時々昨年途中まで歩いた白雲岳避難小屋から忠別岳〜トムラウシへのなだらかな縦走路が顔を出す。

珍しい高山植物が百花繚乱です

後方は白雲岳。雪渓上に避難小屋も

第一花畑、後方が緑岳



懐かしいしトムラウシまで縦走したい。（車の回送など足の問題がある）ガスで展望の効かない山頂に到着。誰もいない。此处まで足を伸ばす人は少ない。（大雪山方面から）小泉岳との間で今年も去年も会った人は10人前後である。それで高山植物（とりわけ固有種）の宝庫になっているのだろう。往路は花の状況、分布中心に帰路ユックリ写真撮りながら見る事にして小泉岳まで歩く。

途中ガスの切れ間から白雲岳や懐かしい避難小屋が見える。昨年は快晴の2日間だったので今日の天気は諦めがつく。雨にあわなければ良しとしよう。昨年は他の珍しい固有種に気が取られてキズカナかったチョウノスケソウも沢山咲いているが気持ち小型だ。ジンヨウキスミレ、チシマクモマグサ、ウスウキトウヒレン、メアカンキンバイ、エゾウサギギク、コエゾツガザクラ、ホソバノイワベンケイ、エゾマメヤナギ、エゾオヤマノエンドウ、チシマアマナ、エゾタカネツメクサ、クモマユキノシタ、レブンサイコ、コマクサなどなど。お目当てのホソバウルップソウ、キバナシオガマも沢山ある。「絶滅危惧種」とはいえない位に。今日のコースは日帰り高山植物を見るには絶対お勧めだ。交通の便。アプローチの短さ、空いている。写真沢山撮ったがやはり天候悪いので写りがイマイチ悪い。高原温泉に戻る手前で雨が降り出す。しばらくして止む。温泉付近の「ダイセツヒナオトギリ」を探す。地熱のある礫地に咲くと言うのですぐ見当がついて見つける。いくつか散在して咲いている。早く帰着したし、ヒグマ情報センターを見学する。なんと「沼回りコース」の入り口は建物内から始まっている。ヒグマの多い場所なので安全性からの配慮だろう。

この後もニセイカウシュッペ山、美瑛岳など登山予定でしたが、昨年は天気に恵まれたのですが、今年は逆にダメで、週間天気予報も悪いので以降登山中止して観光に変更しました。

参考までに大まかな行程です。7/2 4:22~5:42 糸魚川IC~8:20 新潟亀田IC~(268KM) 8:40 新潟港 10:30~新日本海フェリー~4:30 小樽港~6:04 夕張IC~7:00 道の駅樹海ロード日高 7:30~10:00 扇原展望台~10:15 然別湖P

7/11 (雨のち曇り) 層雲峡YH~旭川市旭山動物園(見物)~山の知人のY氏宅にお邪魔する~東川町とほの宿「ゆう」宿泊(泊り客他に2名)

7/12 (晴れ) 富良野をユックリ見物する(せるぶの丘、かんのファーム、拓真館、四季の丘、日の出公園、ファーム富田など)~吹き上げ露天の湯~吹上温泉(泊)

7/12 (曇りのち晴れ) 4:00~夕張IC~長万部IC~二股ラジウム温泉~寿都町~弁慶岬~14:00 江差町
(泊)

7/13 (雨のち曇り) 4:00~5:05 (65KM) 松前城 5:18~5:40 横綱の里ふくしま 5:45~7:10 (171KM) 函館山 8:30~五稜郭~市場買い物~トラピスチヌ修道院~14:00 (202KM) 湯の川温泉(泊) 市電で夕方函館駅付近見物、買い物

7/14 (快晴) 4:15~恵山、5:30 水無海浜温泉 6:10~流山温泉~7:30 大沼公園 9:50~11:20 八雲IC~13:16 苫小牧西IC~13:45 市場 15:15~15:50 ウトナイ湖(ビジターセンター等散策) 17:30~17:58 (416KM) 苫小牧東港 自宅出発から総走行距離 2322KM 19:30~ 7/15 (火) 15:30 新潟港~19:50 自宅

歳とともにだらしなくなっていてコースタイム表などを紛失する事があり反省しています。